# 新型コロナウイルス感染症に対する 3 月上旬時点での熊本市民の声の緊急分析

熊本市都市政策研究所特別研究チーム※1

キーワード：新型コロナウイルス感染症、市民の声、広聴、テキストマイニング、計量テキスト分析

## 1.研究の背景と目的

新型コロナウイルスの感染拡大は、市民生活や経済活動に多大な影響を与えている。今後、熊本市が市民生活や経済活動の再建に向けた取り組みを展開するためには、熊本市民がどのような不安や意見・要望等を持っているのかを分析し課題を明確にする必要がある。

この点について、熊本市は令和 2（2020）年 3 月上旬に、関係団体等に対してヒアリング調査を行っており、当該ヒアリングの回答要旨をまとめたテキストデータが存在する。

そこで、計量テキスト分析により、新型コロナウイルス感染症に対する市民の声から新型コロナウイルス感染症に対して市民が感じている不安や意見・課題等を明らかにしたい。

## 2.分析対象データの内容

### (1)調査時期

令和 2（2020）年 3 月 9 日～3 月 13 日

### (2)調査対象

熊本地震の際に、熊本市が作成した関連団体リストを基に、各局（区）が関連する 268 団体を抽出し調査した。団体の分類としては、国際、物品、市民団体、医療・福祉、環境、観光、経済、労働、農業、建築・土木、教育、水道、校区自治協議会の 13 分類から抽出した。また、校区自治協議会については、市内全域（中央・東・西・南・北の全区）を対象としている。本調査により得られた声は、特定の分野・地区の声ではなく、広く熊本市で生活・経済活動を営む市民の声である。調査対象団体の詳細は巻末（表 2）に掲載している。

### (3)調査主体

関係局及び各区の職員が関連する団体を対象に調査した。例えば、健康福祉局が医療・福祉関連の団体を対象に調査した。また、校区自治協議会については、各区役所の職員が区内の校区自治協議会を調査した。また、市長の関係団体との意見交換に同行した広聴課職員による要約も含んでいる。

### (4)調査内容

関係局及び各区の職員が相手方を訪問し対面により①現況や各団体としての対応状況、②今後の懸念事項・課題や要望の二点についてヒアリングした。当該ヒアリングの要旨を各担当が要約しテキスト化したものを本分析ではデータとして使用した。

### (5)調査実施にあたっての衛生的配慮

訪問する際は、相互に感染予防策に万全を期した。

訪問出来ない場合は、文書等によりヒアリングを実施した。

## 3.分析手法

### (1)分析にあたっての倫理的配慮

分析に用いたデータは本分析に用いることを目的で収集したデータではなく、また、公開の可否等について事前に同意を得ていないため、分析並びに結果の記載では務めて匿名化を行った。

### (2)KHCoder を利用した計量テキスト分析

本分析では、分析者の主観や恣意性を排除し、客観性を高めるために、テキストデータを単語に分解し、数量（語の使われている回数（頻度）や共起の相関等）から分析する手法である計量テキスト分析を用いた。計量テキスト分析は、データの多様性、種類、分布などについての全体像や概観を描くのに適している。また、引用し解釈すべき部分が明らかになる場合があり、文章を読んでの質的な解釈（因果関係の推論、対応策の発案等）を行うことにも資する。

計量テキスト分析においては、分析するデータが膨大であることと、人為性を極力排除する必要性から、コンピュータの適切な利用が望ましいとされている。このため、本分析では分析ソフトウェアである KHCoder を用いて分析を行った。文字数は約 45,000 字、単純集計による総抽出語数は 28,120 語、異なり語数（使われていた語の種類）は 2,686 語であった。

### (3)共起ネットワーク分析

分解した語と語が同じ文脈中に出てくる関係にあることを共起関係という。本分析では、KHCoder を用いて語間の共起関係を分析し、共起ネットワーク（図 1）として図示した。

共起ネットワークとは、共起関係がある語同士を線で結んだ図であり、線が太いほど共起関係が強い（共起している回

数が多い)ことを示している。本分析では、10 回以上出現している語について分析し、共起関係上位 300 位以内(共起の組み合わせとして、出現頻度が高い上位 300 ケース)を図示している。また、語の周りの円の大きさは語の出現頻度を示しており、大きいほどその語が出現する回数が多いことを示している。

**4.分析結果**

本分析で得られた共起ネットワーク図から(1)声の大きさ(円が大きい＝出現している回数が多い語)と(2)主体を表す語に着目して分析した結果は以下の諸点である。

**(1)声の大きさ(出現頻度)に着目した分析**

**(1)-①広範な活動中止に対する声**

本図の右上に「中止」を中核として、「イベント」「予定」「行事」「会議」「総会」「活動」等の語がまとまった一番大きな塊がある。回答要旨の例(表 1:以下同じ)を見ると、新型コロナウイルス感染症により、イベントや行事だけでなく、今後の予定、会議や総会、日常の活動など多方面で中止又は延期となっており、そのことに対する声が大きいことが分かる。

**(1)-②時期の見通しが立たないことに対する声**

(1)-①と強く結びついている(同じ文脈で語られている)語について着目すると、「いつ」「続く」「状況」の記述と「計画」「立つ」「見通し」等の語が強く結びついている。回答要旨の例を見ると、いつまでこの状況が続くのか、計画や見通しが立たないといった声が、(1)－①の声と結びついていることが分かる。 同種の声としては、(2)-②経済活動の落ち込みに関する声と結びついている「先」「見える」の語がある。回答要旨の例を見ると、先行きが見えないことに対する声が大きいことを示している。また、特定の声と結びついてはいないが、「3 月」「以降」、「長引く」「多い」という語が見られ、3 月以降どのようになるのかという声や、事態の長期化を懸念する声が大きいことが分かる。総じて、5W1Hのうち、時期(When)に言及している声が大きいことが分かる。

**(1)-③物資(マスク・消毒液など)の不足に対する声**

もうひとつ(1)-①の声と強く結びついている語として、「マスク」「消毒」「不足」の語がある。回答要旨の例を見ると、マスクや消毒薬等の物資の不足に対する声が(1)-①の声と強く結びついている構造が分かる。

**(1)-④感染者が出た場合等の対処法に対する声**

他の声とは結び付いていないが、本図の左上に「感染」「場合」「対応」を中核とした大きな塊がある。回答要旨の例を見ると、感染者が出た場合の対応や感染拡大防止のための対応をどうしたら良いのか(How)ということに言及する声が大きいことが分かる。

**(2)主体を表す語に着目した分析**

**(2)-①医療機関に関する声**

主体を表す語に着目すると本図左上に「医療」「機関」「病院」を中核として「患者」「診療」と、「衛生」「用品」「確保」に分岐する塊がある。回答要旨の例を見ると、医療や福祉の現場において診療体制や衛生用品の確保についての声が大きいことを示している。

**(2)-②店舗(経済の落ち込み)に関する声**

また、本図左側に「店舗」を中核として「飲食」「売上」「厳しい」と結びついている塊がある。回答要旨の例を見ると、飲食店を中心に売上減少に対する声が大きいことが分かる。また、この塊の他にも「収入」「減少」、「資金繰り」「税」、「雇用」「調整」などの語が大きな塊を形成しており、総じて経済活動の落ち込みに対する声が大きいことを示している。

**(2)-③子どもに関する声**

さらに、本図中央やや上よりに「子ども」を中核として「ストレス」、「親」「家庭」、「育成」「クラブ」、「学校」等の語に分岐する塊がある。回答要旨の例を見ると、休校等による子どもへのストレス、子どもを家庭でみることへの不安や育成クラブが閉所となった場合の子どもの居場所に対する声が大きいことを表している。また、この塊は、「給食」にも分岐しており、給食がなくなることに関する声(食生活や栄養面についての声、食材等の納入業者の声)にも結びついている。加えてこの塊は、「休校」「職員」に結びついている。回答要旨の例を見ると、休校により職員(公務員に限らず、医療従事者、保育従事者、飲食店やスーパー等の店員も含む)が従事できなくなることに対する声が大きいことを示している。一方で、「学力」「勉強」など子どもの学習に関する語は図上に出現していない。これは、調査時点では休校は春休みまでの予定であり育成クラブも開所していたためと考えられる。休校が長期化し育成クラブが閉鎖されている現時点※2では、こうした声はより大きくなっていると推察する。

**(2)-④高齢者に関する声**

さらに、本図中央やや右寄りに「高齢(者)」を中核として「サロン」「外出」「健康」の塊がある。回答要旨の例を見ると、集まりや外出がなくなることによる高齢者に関する声が大きいことが分かる。この塊は、「民生」「委員」「訪問」「休止」等とつながっているが、民生委員による高齢者等への訪問や安否確認ができなくなることに関する声があることが分かる。

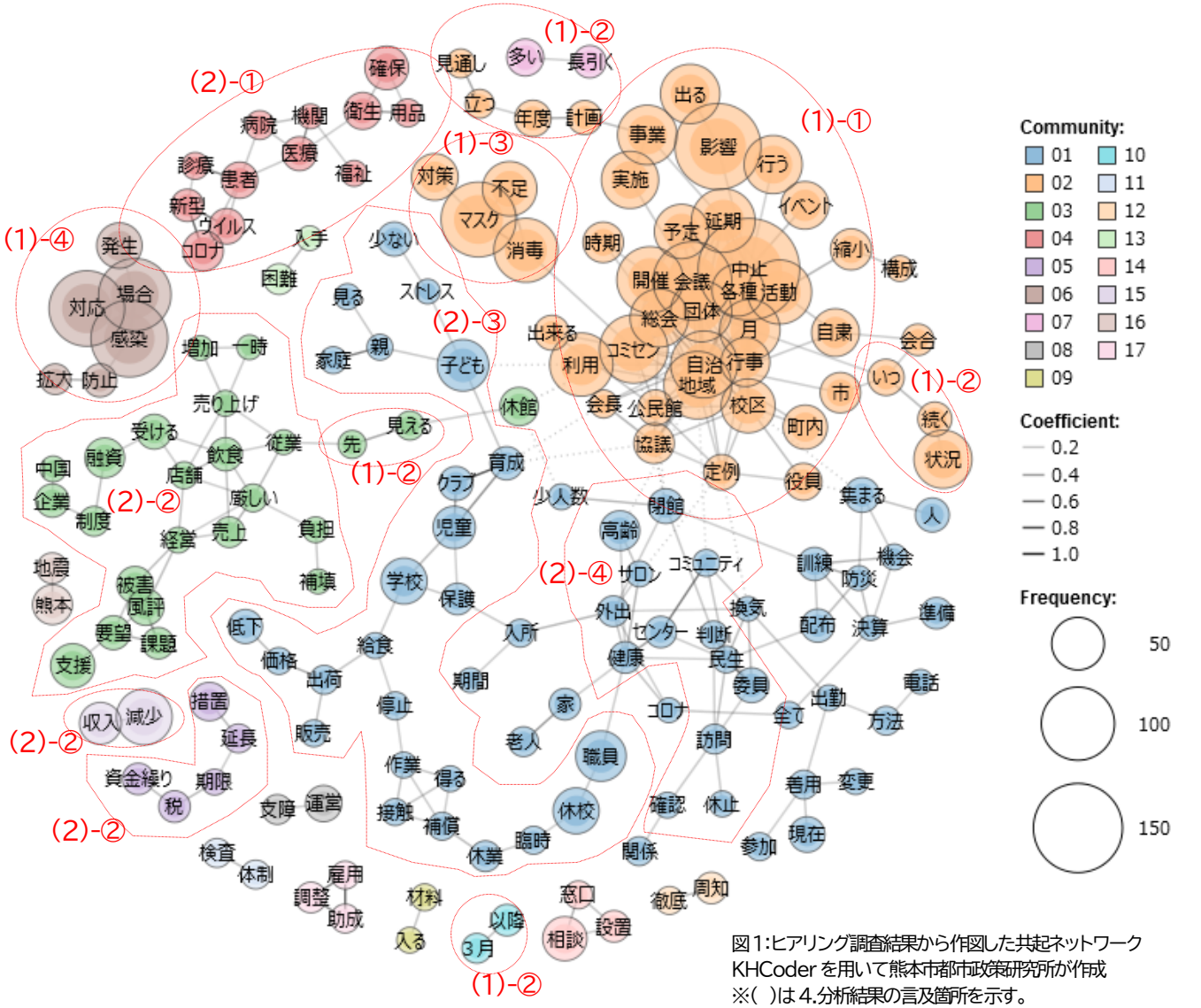



図1:ヒアリング調査結果から作図した共起ネットワーク
KHCoder を用いて熊本市都市政策研究所が作成
※( )は 4.分析結果の言及箇所を示す。

表1:回答要旨の例

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中止 | 卒業式等の催事は縮小又は 中止 | 医療 | 手指消毒用エタノール等の衛生材料・ 医療 材料の供給不足 |
| | 集会・ イベント の 中止、 会議 の 中止 、講演会や出前講座の 中止 | | 家族が 医療 機関に勤務しているため、家族以外 |
| | 会議 や研修会をすべて 中止 にしている | | 大流行となった時の 医療 機関の応答力 |
| | 地域 活動 の 中止 に伴い、一部、保険返戻相談事務等 | | 救急 医療 に支障をきたす可能性がある |
| | 会議 、遠足を 中止 にした | | 施設によっては 医療 の継続が困難になることが予想 |
| | 休校や イベント 中止 等で注文キャンセル続出し | 売り上げ | テナント物件の家賃滞納や解約による 売り上げ が減少し、資金繰りが懸念 |
| | に実施している販売促進 活動 を 中止 しているため | | 50%減(特に飲食店への 売り上げ が落ちている) |
| | 交通安全運動など3月の 活動 も 中止 、4月以降についても | | 賃貸の店舗では、 売り上げ がなくても家賃が発生し大きな負担 |
| | 行事 を全て 中止 (各種会議は必要に応じて | 減少 | 売上 減少 により、翌月、翌々月へと資金繰りなどに影響が出てくる |
| | イベント のほとんどが 中止 となっている | | 各業種において、経営が非常に厳しく、所得の 減少 が懸念される |
| | 行事 や会合等がすべて 中止 となり、子どもたちの楽しみの場が | | アルバイトに外国人を雇っていた為、客が 減少 しているなどの風評被害 |
| いつ 続く | 患者の意欲や精神衛生上の観点から いつ まで継続できるか不安 | | 売上げが大幅に 減少 している業者に対する対応や |
| | 観点からの諸業務の縮小・対応は いつ まで 続く のか見通しが持てない | 子ども | 子ども 一人で留守番させることが不安 |
| | いつ 収束するかがわからないこと、この病気 | | 子ども たちの日常の過ごし方や、新学期 |
| | いつ まで 続く かという漠然とした不安はある | | 育成クラブに 子ども を預けるのに不安を抱く職員がいる |
| | 市の施設の再開は いつ 頃になるのか | | 子ども 達の精神的なケアなどに不安が |
| 見通し 立つ 計画 | 在庫確保の 見通し が 立た ない。 | | 塾に行っている 子ども はいいが、行ってない 子ども 達の勉強面で |
| | 収束する目途が 立た ないため、来年度の事業 計画 が立てづらい | | 子ども たちの居場所や学習補助等の対策を |
| | コロナ終息の見通しが 立た ず、新年度の事業 計画 も立てづらい | | 行事や会合等がすべて中止となり、 子ども たちの楽しみの場が失われた |
| マスク | 困り事( マスク がない)の連絡を受け | 職員 休校 | 休校 のため 職員 が休んでいるケースもあるが |
| | マスク 不足が深刻である | | 今後長引いた場合、子守りによる出勤不可な 職員 への対応 |
| | マスク ・消毒剤等の衛生資材の供給が | | 職員 や 職員 の家族が感染した場合の |
| | マスク やガウン、ゴーグル、衛生材料等の不足 | | 臨時 休校 による従業員への対応について困惑 |
| | 消毒は必須だが、 マスク も、手に入りづらい状況なので | | 休校 等に対応し従業者を休ませる場合 |
| 場合 | 陽性者が発生した 場合 の対応が不明 | 高齢 | コロナウィルスの影響が長引くと、 高齢 者の健康面に不安が残る |
| | 預け先や勤め先が休業になった 場合 の補償など1日に2～3件 | | 運動する機会が減ってきているため 高齢 者の体力低下が心配 |
| | 休園や、職員の家族が感染した 場合 の職員の確保 | | 子どもや 高齢 者が集まるイベント(定例地域行事)の |
| | 在宅サービスが縮小された 場合 のサービス利用者が困る状況が発生する | | サロン中止で、楽しみに来ている 高齢 者の居場所がなくなり心配している |
| | 乗務員が感染した 場合 の対応、運休や運行便数減の検討 | | |
| | 介護施設が閉鎖となった 場合 は | | |

熊本市都市政策研究所作成

## 5.緊急分析を終えて

### (1)所見

本分析により、市民の声の全体像を系統化する形で視覚的に示すとともに、(1)主体・分野を問わず全体として大きな声と(2)特定の主体(医療機関・店舗・子ども・高齢者)に関連して大きな声を明確化することができた。このことは、個別の主体・分野に対する取り組みが必要であるだけでなく、分野を横断した相互補完的な取り組みが必要であることを示している。

特に、(1)-①の声が、主体・分野を問わず大きな声であることから、新型コロナウイルス感染拡大からの経済・市民生活再建のためには「全てやめる(中止する)」という選択肢ではなく、例えば郵送による図書館の貸出・返却サービス、宅配やテイクアウトによる飲食サービス、時間・人数・体調・利用方法等を制限したうえでの施設利用、ICT を活用した遠隔による授業・会合・会議など、感染症対策をしたうえで日常の活動を少しづつでも「再開」できるよう工夫することが重要であることを示唆するものと読み取れる。

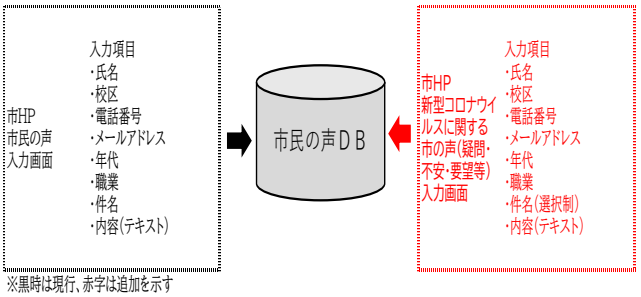
### (2)計量テキスト分析の継続利用のために必要なこと

本分析で行ったように、声(テキストデータ)を収集し、計量テキスト分析の手法を用いれば、新型コロナウイルス感染症からの経済・市民生活の再建にあたる者(熊本市の職員、施設管理者や職員、店舗(団体)の経営者や従業員、教職員等)、専門知識を有する者(医療・福祉・経済・労務・教育の学識者等学術的見地から施策の立案・推進に助言とエビデンスを与える者)に対して、着目すべき特定語(キーワード)を示す資料を提供できる。加えて、回答要旨の例で示した通り、特定語前後の文脈を表示することも可能であることから、特定語を手がかりに文章を読んでの質的解釈(因果関係の推論や対応策の発案)にも活用することができる。

従って、今後も継続してテキストデータを収集し計量テキスト分析を行う必要があるが、今回のように、担当者による対面によるヒアリング調査で情報を収集しテキスト化する調査手法では、時間的な面(アポイント調整の時間、聞き取りに要する時間、聞き取り内容をテキスト入力する時間)でも、人的な面(聞き取りやテキスト入力に多くの人員が必要)でもコストが大きい。特に、入力・要約に時間的コストがかかることから、調査と分析との間にタイミングのずれが生じ、リアルタイムな分析ではなくなってしまう。今回の調査は、育成クラブが開所しており、休校は 4 月の春休み終了までとされていた時期に実施されたものである。育成クラブが閉鎖され、休校期間も延長され、法に基づく緊急事態宣言と休業要請が出されている現時点[※2]で調査を行えば、声の大きさ・内容は大きく変質しているものと推察する。従って、新型コロナウイルス感染症からの経済・市民生活再建のように急激に情勢が変化する問題に対しては、時間的コストを最小限に抑え、継続したリアルタイムでの分析が必要である。

加えて、現時点では、接触・対面によるヒアリング調査は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からは極力避けなければならない。さらに、要約データを採用すると、聞き取り者の主観が介在し、声の内容が変質する可能性も否定できない。

これら課題を解決するため、例えば、現在運用されている市民の声データベース入力フォームとは別に、新型コロナウイルス感染症に特化した入力フォームを設け、市民に直接入力してもらう形式を採れば、短期間で効率的にテキストデータを収集することができる。データが備われば、分析自体は短期間(1 週間程度)で可能であるため、タイムラグを極力解消することができ、リアルタイム分析が可能となる。この方法であれば、既存のシステムを使い入力フォーム(入口)をもう一つ加えるのみであるため、改造に要する時間や費用は極力抑えることができ、今回のような大規模な訪問・対面調査を再度行ったり、新たな電子的なシステムを構築するよりは、比較的容易に実現可能であると考える。




※黒時は現行、赤字は追加を示す

図２：市民の声データベースを活用したテキストデータ収集イメージ

(熊本市都市政策研究所作成)

※1:熊本市都市政策研究所特別研究チーム

木村 領……職員研究員、参事
山田 聰亮…博士研究員(会計年度任用職員)、博士(経済学)
藤井 可……職員併任研究員、労務厚生課医療参事(産業医)、博士(学術)、社会医学系専門医・指導医

※2:本報告の執筆は 2020 年 4 月 23 日である

(参考文献)

樋口耕一(2014)『社会調査のための計量テキスト分析』株式会社ナカニシヤ出版

表2:ヒアリング対象団体(一部団体名を匿名化している)

| 分類 | 団体名 | 分類 | 団体名 | 分類 | 団体名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 国際 | 熊本市国際交流振興事業団 | 環境 | 熊本市一般廃棄物処理業協同組合 | 水道 | 熊本市管工事協同組合 |
| | 熊本県日中協会 | | 熊本県産業資源循環協会 | | 公益財団法人熊本市上下水道サービス公社 |
| | 大学(4校) | | 熊本県清掃事業協議会 | | 受託会社:株式会社G |
| | 日本語学校(2校) | | 熊本市災害し尿等対策協議会 | | 受託会社:株式会社H |
| | 専門学校(2校) | 観光 | 公益社団法人　熊本県観光連盟 | | 受託会社:株式会社I |
| | 外国人コミュニティ(2団体) | | 熊本市観光旅館ホテル協同組合 | 校区自治協議会 | 中央区19団体 |
| | 事業者(2社) | | 熊本市ホテル連絡協議会 | | 東区18団体 |
| | 外国人技能実習機構 | | 日本旅行業協会九州支部熊本県地区委員会 | | 西区16団体 |
| | 熊本県労働雇用創生課 | | 熊本国際観光コンベンション協会 | | 南区23団体 |
| | 熊本労働局 | | 全国旅行業協会熊本県支部 | | 北区25団体 |
| | 福岡出入国在留管理局 | 経済 | 熊本経済同友会 | | |
| | 福岡出入国在留管理局熊本出張所 | | 熊本県経営者協会 | | |
| | 介護事業所(5所) | | 熊本県中小企業家同友会 | | |
| 物品 | 熊本県石油販売協同組合 | | 熊本商工会議所連合会 | | |
| | 熊本県印刷工業組合 | | 熊本県商工会連合会 | | |
| | 一般社団法人　熊本県ビルメンテナンス協会 | | 熊本県中小企業団体中央会 | | |
| | 事業者:有限会社A | | 熊本県商店街振興組合連合会 | | |
| | 事業者:株式会社B | | 熊本市中心商店街等連合協議会 | | |
| | 事業者:株式会社C | | 熊本市商工会連絡協議会 | | |
| 市民団体 | 熊本市地域公民館連絡協議会 | | 一般社団法人　熊本県工業連合会 | | |
| | 特定非営利活動法人エヌピーオーくまもと | | 一般社団法人　熊本市物産振興協会 | | |
| | 熊本市子ども会育成協議会 | | 一般社団法人　熊本県貿易協会 | | |
| | 熊本市交通指導員区協議会連合会 | | 一般社団法人　熊本県情報サービス産業協会 | | |
| | 熊本市防犯協会 | 労働 | 熊本労働局(雇用環境均等室・職業対策課) | | |
| | 熊本市消費者団体連絡会 | | (公社)熊本県トラック協会 | | |
| | 特定非営利活動法人熊本消費者協会 | | (一社)熊本市タクシー協会 | | |
| 医療・福祉 | 熊本市青少年健全育成連絡協議会 | | 連合熊本 | | |
| | 熊本市地域婦人会連絡協議会 | 農業 | 熊本市農業協同組合 | | |
| | 熊本市医師会 | | 鹿本農業協同組合 | | |
| | 下益城郡医師会 | | 熊本宇城農業協同組合 | | |
| | 鹿本医師会 | | 熊本県酪農業協同組合連合会 | | |
| | 熊本県公的病院長会 | | 熊本県畜産農業協同組合　城南支所 | | |
| | 熊本市歯科医師会 | | 熊本市認定農業者協議会 | | |
| | 熊本県歯科衛生士会 | | 株式会社熊本地方卸売市場 | | |
| | 熊本市薬剤師会 | | 「道の駅　すいかの里植木」出荷者協議会 | | |
| | 熊本県看護協会 | | 「火の君マルシェ」出荷者協議会 | | |
| | 熊本県精神科協会 | | 熊飽野菜生産者連絡協議会 | | |
| | くまもと江津湖療育医療センター | | 熊本県土地改良事業団体連合会熊本支部協議会 | | |
| | 熊本産業保健総合支援センター | | 熊本市漁業振興協議会 | | |
| | 社会福祉法人ライン工房 | | 熊本県漁業協同組合連合会 | | |
| | 自立生活センターヒューマンネットワーク熊本 | | 熊本県花き事業協同組合(肥後花市場) | | |
| | 熊本県栄養士会 | | 植木市振興会 | | |
| | 熊本市地域包括支援センター連絡協議会 | 建築・土木 | 公益社団法人熊本県建築士会 | | |
| | 熊本市民生委員・児童委員協議会 | | 一般財団法人熊本県建築住宅センター | | |
| | 熊本市社会福祉協議会 | | 一般社団法人熊本県建築士事務所協会 | | |
| | 熊本市社会福祉施設連合会 | | 一般社団法人熊本県設備設計事務所協会 | | |
| | 熊本市老人福祉施設協議会 | | 公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会 | | |
| | 熊本市老人クラブ連合会 | | 日本賃貸住宅管理協会熊本県支部 | | |
| | 熊本市保育園連盟 | | 一般社団法人熊本県建築協会 | | |
| | 熊本市私立幼稚園・認定こども園協会 | | 一般社団法人熊本都市建設業協会 | | |
| | 熊本県立熊本支援学校 | | 一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部 | | |
| | 熊本県養護協議会 | | 一般社団法人熊本県測量設計コンサルタンツ協会 | | |
| | 熊本県里親協議会 | | 一般社団法人建設コンサルタンツ協会九州支部 | | |
| | 熊本市心の障害者家族会 | | 一般社団法人熊本市造園建設業協会 | | |
| | 熊本市身体障害者福祉協会連合会 | | 西部瓦斯株式会社熊本支社 | | |
| | 熊本県介護支援専門員協会 | | 一般社団法人熊本県地質調査業協会 | | |
| | 熊本県自閉スペクトラム症協会 | | 一般社団法人熊本県道路舗装協会 | | |
| | 熊本市食生活改善推進員協議会 | | 一般社団法人熊本県(防災)交通安全施設・橋梁補修業協会 | | |
| | 熊本県生活衛生同業組合連合会 | | 熊本液化石油ガス事業協同組合 | | |
| | 熊本市8020健康づくりの会 | | 熊本県電気工事業工業組合 | | |
| | 熊本市手をつなぐ育成会 | | 一般社団法人熊本県電設業協会 | | |
| | 熊本県難病・疾病団体協議会 | | 一般社団法人熊本県LPガス協会 | | |
| | 全国健康保険協会熊本支部 | | 熊本県バス協会(各バス会社) | | |
| | 熊本県保険者協議会 | | 熊本県宅地建物取引業協会 | | |
| | 熊本市校区社協連絡協議会 | | 熊本県鉄構工業会協同組合 | | |
| | D病院 | | 熊本県防水工事業協会 | | |
| | 熊本県ひとり親家庭福祉協議会 | | 熊本県行政書士会 | | |
| | 熊本県知的障害者施設協会 | | 熊本県土地家屋調査士会熊本支部 | | |
| | はーとアラウンドくまもと | | (一)日本補償ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ協会九州支部熊本県部会 | | |
| | 熊本県身体障害児者施設協議会 | | (公)熊本県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 | | |
| | 熊本県ろう者福祉協会 | | (公)熊本県公共嘱託登記司法書士協会 | | |
| | 県・市視覚障がい者福祉協会、県点字図書館 | 教育 | 熊本市PTA協議会 | | |
| | 全国重症心身障害児(者)を守る会 | | 熊本市学校給食会 | | |
| | カムさぁ(放課後デイサービス　代表事業所) | | 熊本県学校給食会 | | |
| | 子育て世代の方々(HAPPYPARKプロジェクト) | | 児童育成クラブ(F小学校) | | |
| | 幼保連携型認定こども園E | | | | |

分類ごとの抽出団体数
(数字は団体数)

